

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 ムトー精工株式会社

上場取引所 東

コード番号 7927 URL <http://www.muto.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 田中 肇

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 金子 貞夫

TEL 058(371)1100

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	19,142	5.0	264	△54.1	470	△32.9	371	△12.4
25年3月期第3四半期	18,234	28.0	575	332.1	701	592.4	423	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,465百万円 (52.6%) 25年3月期第3四半期 960百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	51.62	—
25年3月期第3四半期	58.50	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	23,620	14,285	56.8
25年3月期	22,589	12,984	54.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 13,403百万円 25年3月期 12,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	9.00	—	8.00	17.00
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	1.1	700	△12.4	700	△28.4	500	△17.1	69.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	7,739,548 株	25年3月期	7,739,548 株
26年3月期3Q	552,410 株	25年3月期	494,460 株
26年3月期3Q	7,193,602 株	25年3月期3Q	7,245,207 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づくレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済対策や海外経済の持ち直しにより、前四半期に続き円安・株高が進行しております。それに伴い、輸出や設備投資の持ち直し、雇用・所得環境の改善による個人消費の増加などが見られ、景気は緩やかに回復しております。一方、円安に伴う輸入品のコスト高を価格転嫁する動きがあり、食料工業品等の消費者物価は上昇傾向にあります。また、世界経済は、堅調な民間需要と金融緩和により景気回復の続く米国を中心に持ち直しつつあります。しかし、欧州における債務問題、アジアを中心とした新興国経済の減速などを背景に、先行き不透明な状況が続いております。

当社を取り巻く業界では、AV関連においては、スマートフォンやタブレット端末の新商品、節電機能に優れた白物家電等の販売が堅調に推移しております。一方で、テレビやパソコンは引き続き低調であります。自動車関連においては、特に輸出が増加基調にあり、米国向けは為替相場の影響もあって堅調に推移し、低調だったEUや中国向けについても改善傾向が見られます。また、国内販売も新型車の投入により底堅く推移しております。

このような経済環境のなか、当社グループにおきましては、前期末からの円安基調が収益改善に寄与したことに加え、受注活動のさらなる推進、固定費の削減並びに業務効率の一層の改善を図るなど経営体質の強化を図ってまいりました結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は191億4千2百万円と前年同四半期と比べ9億8百万円(5.0%)の増収となりましたが、海外子会社の人件費等の固定費増加により営業利益は2億6千4百万円と前年同四半期と比べ3億1千1百万円(54.1%)の減益、経常利益は4億7千万円と前年同四半期と比べ2億3千万円(32.9%)の減益、四半期純利益は3億7千1百万円と前年同四半期と比べ5千2百万円(12.4%)の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① プラスチック成形事業

当セグメントにおきましては、新車販売台数の増加を背景にカーナビゲーションやエアコンなど自動車関連部品が堅調に推移した一方で、デジタルカメラ全体の販売不振が続く中、ビデオカメラやデジタルカメラのAV関連は依然として低迷しており、平成24年2月に設立したムトー(タイランド)におきましてもデジタルカメラ等の受注減少の影響により本稼働が遅れております。また、好調に受注を伸ばした電子ペン関連製品も当第3四半期において付加価値の低下や受注量が減少したことにより、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて170億3千6百万円と前年同四半期と比べ16億4千5百万円(10.7%)の増収となりましたが、セグメント利益(営業利益)は2億8千5百万円と前年同四半期と比べ1億4千2百万円(33.2%)の減益となりました。

② 精密プレス部品事業

当セグメントにおきましては、付加価値の高いデジタル一眼レフカメラの新商品販売は伸び悩みの状況が続いております。また、スマートフォンの普及により欧州や中国を中心にコンパクトカメラ全体の販売が低迷しております。その結果、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて20億2百万円と前年同四半期と比べ8億4千8百万円(29.8%)の減収となり、セグメント損失(営業損失)は2千7百万円(前年同四半期はセグメント利益(営業利益)1億2千1百万円)となりました。

③ プリント基板事業

当セグメントにおきましては、設計業務にて、複写機関連が第2四半期に続き安定的に受注を確保したものの、パソコン等の電子機器に使用されるパッケージ基板の配線設計は不振が続いております。検査業務におきましても、パッケージ基板や時計関係の基板の電子検査が大幅な受注減少となりました。積極的に新規顧客の開拓、経費削減を進めましたが、売上高はセグメント間の内部売上高を含めて1億9千8百万円と前年同四半期と比べ2千1百万円(9.8%)の減収となり、セグメント利益(営業利益)は6百万円と前年同四半期と比べ2千万円(76.4%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間の財政状態は、流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ7億3千1百万円増加し、132億9千2百万円となりました。現金及び預金が7億9百万円、商品及び製品が3億1千3百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が3億2千5百万円減少したことなどが主な要因です。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ2億9千9百万円増加し、103億2千8百万円となりました。有形固定資産が2億2千4百万円、投資その他の資産が4千5百万円それぞれ増加したことなどが主な要因です。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ10億3千1百万円増加し、236億2千万円となりました。

また、流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2百万円増加し、70億4千万円となりました。短期借入金が8億3千5百万円増加し、支払手形及び買掛金が4億4百万円、1年内返済予定の長期借入金が1億4千5百万円、未払法人税等が1億1千6百万円それぞれ減少したことなどが主な要因です。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ2億7千1百万円減少し、22億9千5百万円となりました。長期借入金が2億7千7百万円減少したことなどが主な要因です。

この結果、負債の部は、前連結会計年度末に比べ2億6千8百万円減少し、93億3千5百万円となりました。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ13億円増加し、142億8千5百万円となりました。為替換算調整勘定が9億7千9百万円、利益剰余金が2億5千5百万円それぞれ増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の連結業績予想(通期)及び配当予想(期末)につきましては、平成25年11月8日にて公表いたしました「平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の内容より変更はありませんが、実際の業績は今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

海外連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,473,935	4,183,628
受取手形及び売掛金	4,860,215	4,534,400
商品及び製品	660,475	973,931
仕掛品	931,930	970,077
原材料及び貯蔵品	1,533,727	1,454,549
未収入金	688,585	508,266
繰延税金資産	59,228	51,999
その他	353,643	616,080
貸倒引当金	△613	△615
流動資産合計	12,561,128	13,292,317
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,516,375	2,606,335
機械装置及び運搬具(純額)	3,437,439	3,557,711
土地	1,298,379	1,298,379
建設仮勘定	1,227,074	1,370,621
その他(純額)	806,605	677,665
有形固定資産合計	9,285,874	9,510,712
無形固定資産		
投資その他の資産	245,065	274,354
投資有価証券	347,083	349,578
繰延税金資産	805	220
その他	152,452	196,391
貸倒引当金	△2,885	△2,885
投資その他の資産合計	497,455	543,305
固定資産合計	10,028,395	10,328,372
資産合計	22,589,524	23,620,690

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,280,521	2,876,097
短期借入金	1,471,449	2,306,617
1年内返済予定の長期借入金	903,637	758,448
未払法人税等	179,391	62,449
賞与引当金	181,782	175,941
その他	1,021,154	860,820
流動負債合計	7,037,937	7,040,375
固定負債		
長期借入金	2,174,217	1,896,921
繰延税金負債	28,958	37,386
退職給付引当金	172,540	165,844
役員退職慰労引当金	171,520	179,612
その他	19,364	15,549
固定負債合計	2,566,600	2,295,314
負債合計	9,604,538	9,335,689
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,188,960	2,188,960
資本剰余金	2,235,713	2,235,713
利益剰余金	9,217,563	9,473,453
自己株式	△347,544	△397,587
株主資本合計	13,294,692	13,500,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,940	60,733
為替換算調整勘定	△1,137,091	△157,655
その他の包括利益累計額合計	△1,089,151	△96,921
少数株主持分	779,445	881,383
純資産合計	12,984,986	14,285,000
負債純資産合計	22,589,524	23,620,690

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	18,234,052	19,142,465
売上原価	15,314,943	16,474,609
売上総利益	2,919,108	2,667,855
販売費及び一般管理費	2,343,808	2,403,643
営業利益	575,300	264,212
営業外収益		
受取利息	7,836	15,240
受取配当金	5,518	5,730
為替差益	68,058	158,807
その他	64,948	59,431
営業外収益合計	146,360	239,208
営業外費用		
支払利息	19,804	32,156
その他	303	325
営業外費用合計	20,108	32,482
経常利益	701,552	470,938
特別利益		
固定資産売却益	2,138	2,084
特別利益合計	2,138	2,084
特別損失		
固定資産売却損	—	1,254
固定資産除却損	9,886	8,221
投資有価証券売却損	—	224
ゴルフ会員権評価損	—	2,196
特別損失合計	9,886	11,896
税金等調整前四半期純利益	693,804	461,126
法人税等	217,459	97,647
少数株主損益調整前四半期純利益	476,345	363,479
少数株主利益又は少数株主損失(△)	52,501	△7,868
四半期純利益	423,843	371,347

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	476,345	363,479
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△691	12,793
為替換算調整勘定	484,701	1,089,243
その他の包括利益合計	484,010	1,102,036
四半期包括利益	960,355	1,465,515
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	864,996	1,363,577
少数株主に係る四半期包括利益	95,359	101,938

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	15,326,355	2,695,877	211,818	18,234,052	—	18,234,052
セグメント間の内部売上高 又は振替高	64,703	155,254	8,819	228,777	△228,777	—
計	15,391,058	2,851,132	220,638	18,462,829	△228,777	18,234,052
セグメント利益	427,721	121,179	26,398	575,300	—	575,300

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	プラスチック 成形事業	精密プレス 部品事業	プリント基板 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	17,011,810	1,942,057	188,597	19,142,465	—	19,142,465
セグメント間の内部売上高 又は振替高	25,042	60,121	10,343	95,508	△95,508	—
計	17,036,853	2,002,178	198,941	19,237,973	△95,508	19,142,465
セグメント利益又は損失(△)	285,690	△27,707	6,229	264,212	—	264,212

(注) セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。